

講義名	研究演習
講義コード	15044
担当教員	辻 美代
開講期・曜日・時限	通年 月曜日 5時限
備考	

ゼミ
全学ゼミ
学部
経済学部
学科
経済学科
演習名
辻美代ゼミナール(アジア論)

概要説明
<p>中国は高度経済成長期を終え、「新常态」つまり安定成長段階に入った。中国は2010年には日本を抜いて世界第二位の経済大国に成長し、現在、米国との厳しい貿易摩擦を抱えている。米国との摩擦は、貿易に限定されるものではなく、経済覇権を争うものとなり、大国間の争いは、世界経済に大きな影響を与えるものであり、米中関係の改善が望まれる。</p> <p>他方、国内に目を向けると、中国の急速な経済成長は、電力・水不足、深刻な公害（環境問題）、経済格差など多くの問題を生んだ。なかでも、環境問題は日本を含む周辺諸国にも影響がおよび、その解決には日本の経験や技術が大いに参考となり、日本の協力がこれまで以上に求められている。また、日本にとっても、中国の活力を取り込むことが必要であり、中国は必要不可欠なパートナーである。</p> <p>現在、中国の日本旅行ブームが続いているとはいえず、日中双方でお互いを正しく理解する機運に欠けている。そのため、ゼミでは様々な情報を収集し、自分の考えて分析できるようにしていきたい。そのため、ゼミでは、企業見学やヒアリング、海外（中国・韓国）研修を積極的に企画し、学生の見聞が広がるようにしていきたい。</p>

学位
経済学修士

教員よりの要望
<p>日本人学生も留学生も、日本、アジアに興味を持ってください。</p> <p>百聞は一見に如かず、百読も一見に如かず？ 中国およびアジアに行って自分の目で見て、感じて、考えましょう。五感（目・耳・鼻・舌・皮膚）を全開させて、中国を体感しながら「知識の芋掘り」をしましょう。芋を探し当てるのはちょっと大変ですが、一旦探し当てると、そこから次から次へと芋が出てきますよ。「知識の芋掘り」を楽しめる、好奇心と忍耐力・体力を持って下さい。そして最後、芋掘りの成果を卒業論文にまとめて下さい。</p>

教員英字氏名
Tsuji Miyo
研究室
研究棟 114研究室
最終学歴
大阪市立大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学

主な研究活動・社会活動・研究業績
<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回、中国およびアジア地域に現地調査に行きます。 ・『20世紀世界繊維事情、モードの「ユニフォーム化」と中国の台頭』、『流通科学大学論集 - 経済・情報・政策編』第23巻第2号（2015年1月） ・『中露林産業の共生・共栄 国境林産物貿易の推移から』、『流通科学大学論集 - 経済・情報・政策編』第22巻第2号（2014年1月） ・『黒竜江省における対ロシア経済交流の現状 木材貿易を中心に』、『富山大学極東地域研究センター 平成22年度富山県委託調査研究報告書『富山と対岸諸国との物流』、2011年3月

主な卒業論文のタイトル
<ul style="list-style-type: none"> ・『中国のベット産業』 ・『野菜の種子について 日本と中国との関係をを中心に』 ・『WTO加盟後の中国経済』 ・『中国の水環境問題』 ・『日中友好関係を実現するために』 ・『霧にかすむ大陸 中国の大気汚染』 ・『日本と中国の流通事情について』 ・『中国の物流』 ・『トヨタ自動車の中国戦略』 ・『日中アパレル産業について』 ・『中国コンピュータゲーム産業の展望』

趣味・特技
<p>大阪の田舎で生まれ、育ちました。長期大阪（日本）を離れたのは、中国（北京）留学の一年間とイギリス（ケンブリッジ）在外研究の一年間。北京（1980年代末）もケンブリッジ（2004年）も『自然』豊かな都市で、サイクリングやハイキングを十二分に楽しみました。方向音痴ですが、地図とカメラを持つをぶらぶらゆっくり歩くのが好きです。</p>

所属
経済学部
所属学会
日本現代中国学会、中国経済経営管理学会、アジア政経学会

専門分野
中国経済論、アジア繊維産業論

選考方法
直接会って、話を決めてみたいと思います。

担当科目
アジア史、アジア経済論、経済学入門、教養基礎（歴史）、研究演習

備考
留学生の感想を一つ載せます。参考にして下さい。

評価方法
ゼミへの出席、そして発表・報告等を総合的に評価します。